

# 確認してみましょ

いくつ〇がつくかな？

女の子だから優しく、男の子だからたくましく、と決めるのはおかしいと思う	
リーダーは男の子も女の子も、みんながなれるチャンスがあると思う	
乱暴な言葉づかいや行動は、女の子も男の子も気をつけるべきだと思う	
男の子が手芸や料理を趣味にするのもいいと思う	
女の子がサッカーや野球をするのもいいと思う	
友だちや仲間との関係は、平等に意見が言える関係がいいと思う	

「女だから」「男だから」にこだわりなく考えていると〇の数が増えるよ！

スポーツが好き、読書が好き、好きな色、好きな食べ物など、私たちがだれもが「自分らしさ」を持っています。あなたの「自分らしさ」もあなたの友だちの「自分らしさ」もどちらも大切にしましょう。

## 歴史に学ぼう

昔はほとんどの小学生が、女の子は赤色のランドセル、男の子は黒色のランドセルを使っていました。今、あなたや、あなたの友だちのランドセルは何色かな？

きっとさまざまな色のランドセルを使っているでしょう。どれも素敵な色ですね。

これっておかしいよね？という、ひとりひとりの意見から、「男性とはこうあるべき」「女性とはこうあるべき」という意識が、変化していくことになるんですね。



### 保護者のみなさまへ

子どもの健やかな成長を願うなかで、「男の子らしく」たくましく育てほしい、「女の子らしく」やさしい子に育てほしいと思うことがあるのではないのでしょうか。しかし、「男の子だから」「女の子だから」という性別を理由にこうあるべきと考えることは、子どもひとりひとりもつ可能性や選択の幅を狭めてしまうことにもなるのです。

依然として「男性は仕事をして、女性は家事や育児をする」という性別で役割を決めてしまう性別役割分担の考え方が残る社会で、子どもたちは成長していきます。また、働く人が性別を理由に差別されることがないように男女雇用機会均等法が整備されてきましたが、いまだに自らが希望する職業を選択できなかったり、自らの能力を発揮する機会が与えられなかったりすることがあるのです。

男女共同参画社会は、誰もが平等に学んだり働いたりするチャンスが与えられ、対等な立場で責任も分かち合える社会のことを言います。このような社会を実現するためには、私たち大人が、「男らしさ」や「女らしさ」という枠のなかに子どもたちを当てはめてしまうことのないよう意識を変えていかなければなりません。

子どもたちが自分らしく輝ける未来のために、このリーフレットがご家族で考えるきっかけとなれば幸いです。

## 男女共同参画

### 小学生向けリーフレット



令和5年度安中市男女共同参画標語コンクール  
(小学生の部) 入賞作品

#### 最優秀賞

『わたしのゆめ 男、女で決めないで』

#### 優秀賞

『家族のみんなが協力すれば 笑顔もふえる 家の仕事は みんなの仕事』

『手分けして 家事をこなすよ 私んち』

『女子も男子も関係ない みんなで話して決めよう 役割分担』

『思い込み 固定観念取っ払い 男女平等輝く未来へ』

令和6年3月発行  
安中市市民環境部市民課市民協働係  
〒379-0192 安中市安中1丁目23-13  
TEL 027-382-1111  
FAX 027-381-7020  
Email shiminkyoudou@city.annaka.lg.jp



安中市のホームページはこちら



安中市

# 1 一緒に考えよう！

「あれ？どうして？」と感じたことはありませんか？

男の子だから強くなきゃって言われるのはどうして？

女の子だからそうじゃ洗たくをするのって当たり前なの？

男の子なんだから、外で遊ばなきゃいけないのかなあ？

私はズボンが好きだけど、女の子はスカートをはいたほうがいいの？

あなたが、「あれ？どうして？」と感じたことを大切にしましょう。  
「テレビで言っていたから」や、「大人が言っていたから」は、本当に当たり前のことでしょうか？  
好きなことや苦手なことは性別に関係なく、人それぞれです。

「男の子だから」「女の子だから」ではなく、ひとりひとりが個性や能力を発揮して、協力し合うことを**男女共同参画**と言います。

## 「男女共同参画はどうして必要なの？」

本当は好きなことがあるのに、「男の子だから」「女の子だから」というだけで、好きなことができなかったらどう思いますか？

男女にかかわらず、だれもが自分らしく生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」は、将来の可能性を広げます。

夢を実現するためには、「自分らしさ」を大切に、興味があることや好きなことはどんどん挑戦しましょう。

# 2 あなたの家ではだれがしていますか？

家の様子を書いてみよう！

家の中の仕事	おも主にしている人	時々している人
食事の準備		
食事の後片付け		
トイレそうじ		
お風呂そうじ		
部屋のそうじ		
洗たく		
ゴミ出し		

昔は男性が外の仕事、女性が家の中の仕事をする家庭が多かったですが、最近では男女に関係なく外で働いている人が増えてきました。

家の中はどうでしょうか？

上の表を見てわかるように、生活の中にはさまざまな仕事がありますね。家族のためにだれかが我慢をしていませんか？

毎日の生活では、協力し合うことが大切です。

家族全員で過ごせる時間を持てるように、自分のできることを考えて、家の仕事について家族で話し合ってみましょう。

家族みんなでやったら早く終わるね！

そうじをしたら、お部屋も気持ちもすっきりしたよ！

# 3 仕事の話聞いてみよう！

私たちの社会では、いろいろな仕事で男女関係なく、活躍しています。あなたの将来の夢は何ですか？どうすれば夢を実現できるでしょうか。

なりたいと思えばなれる！

中村若菜さん  
(建築士)

小学3年生の時、自分の家を建ててくれた人にあこがれて建築士になりました。  
家を建てたい人の相談を受けたり、必要なことを説明したりしています。私は人と話すことが好きなのでとても楽しいです。  
苦手な教科があっても大丈夫。選択肢を広くして自分のなりたい職業を見つけてほしいと思います。

患者さんに寄り添って

中嶋輝明さん  
(薬剤師)

祖母が亡くなったことがきっかけで、高校生の時に薬剤師になりたいと思いました。  
私の仕事は、入院している患者さんの薬を準備したり、薬が効いているか確認したりすることです。元気になった姿を見るとよかったなと感じます。  
嫌だなと思うことにも挑戦したり、いろいろな経験をして将来やりたいことを決めてもらいたいです。

男だから、女だからではなく、あなただからできることを大切にしてくださいね。